

電波時計 取扱説明書 (文字板面照明付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1801)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、**幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

❗ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、**次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

❗ 電池の液漏れが起きたときは、**素手でさわらない**

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

❗ 下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

❗ 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

❗ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

❗ めれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

❗ 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針/分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10℃～+50℃
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 6個
電池寿命	下記「電池寿命と使用条件」
標準電波受信局	標準電波を受信して時刻を修正 福島局/九州局 自動選択
受信回数	最少 1回/日、 最多 12回/日
受信機能	ボタン操作でON/OFF切り替え
サーチ機能	受信局、電波の強弱表示
手動時刻合わせ	ボタン操作
照明機能	明暗センサーと連動して暗いところで文字板面照明
明るさ調節	2段階切り替え
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置
スリープモニター	暗所の状態を再現
電池の交換時期お知らせ機能	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止

電池寿命と使用条件

照明を1日に8時間使用したとき 明るさ選択「強」:約1年 「弱」:約2年
照明をまったく使わないとき 約5年(注)

(注)時計が動いていても電池からの液もれを防ぐために最長5年をめやすに交換してください。

※値は標準電波の受信に成功しているときのものです。

受信開始時刻

自動受信による時刻修正回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

条件	回数	開始時刻
▶ 受信成功から72時間以内の場合	1～3回/日	AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合	12回/日	奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など
▶ 初めから受信に失敗している場合		
▶ 手動で時刻合わせをした場合		

付属品

お試用電池	6個	木ねじ	1個
取付金具	1個	くぎ	4個
取扱説明書	本書	保証書	1枚

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

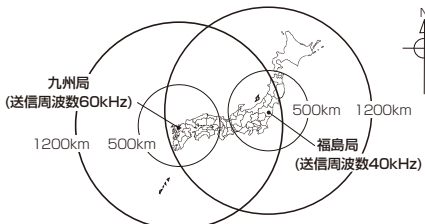
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

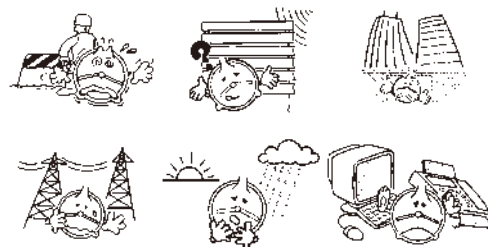


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高压線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けした壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別してください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**強制受信**を押してください。

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「4MY00」をお伝えください。

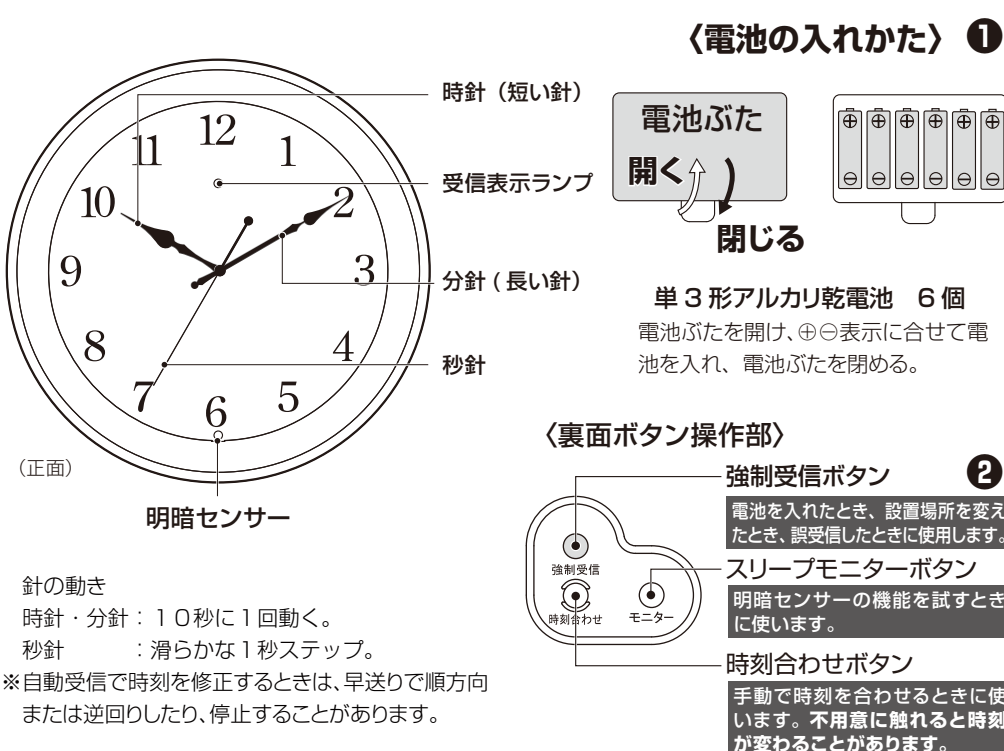
(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。

当社は CITIZEN ブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



標準電波—受信の流れとサーチ機能の使い方

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
- 強制受信ボタンを押します。受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送り移動し、時刻を表示します。表示される時刻は、直前に指していた時刻から継続します。
※電池を入れた直後の時刻は、12時に設定されますが、電池を入れ替えたときは、回路内に電気が残っていると、直前の時刻から継続して表示します。
- 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- 電波状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない
→時計を移動させてください。

○点灯と消灯が繰り返される場合は電波が弱いので、受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

⑤ 受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯

② 強制受信ボタンを押す
3秒間点灯し、針が移動を始めて受信を開始
時刻は不正確です

③ 電波サーチ
受信局を表示
4回点滅 6回点滅 消灯したまま
福島局 (40kHz) 九州局 (60kHz) 受信できない
①からやり直す

④ 電波状態
点灯 消灯
良好 受信できない
受信開始から最長15分後
受信結果を表示

⑤
受信成功 2秒に1回点滅
受信失敗 消灯
正しい時刻を表示 不正確な時刻

Ⓐ 標準電波を受信できない場合へ

○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

○受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正しくありません。

○受信表示ランプは、受信に成功すると最長で24時間表示を続けます。

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせることでご利用になれます。

手動での時刻合わせ……………電波を受信できない、任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を修正します。
☞ **③ 電波受信機能のON/OFF操作** 参照。

時刻合わせボタンを押すと、時計・分針・秒針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押してつづけると早送ります。
秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離れたときに動き出します。
秒針の動きについて
秒は、時刻合わせボタンを離れたとき、ゼロ秒に設定されます。秒針が早送り動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動きます。

Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクオーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには (停止するには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

強制受信 強制受信 強制受信 強制受信

押す 点灯 押す 点灯 押す 点灯 押す 消灯

〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送り動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

電波受信機能をONにするには (開始するには)

工場出荷時の設定は、電波受信機能はONになっています。
OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

強制受信 強制受信 強制受信 強制受信

時刻合わせ 時刻合わせ 時刻合わせ 時刻合わせ

○ 押してすぐ離す
○ 押すと受信を開始
○ 押し続ける
○ 離す

ご注意
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
※電池を取り出しても設定を長時間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

1. 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を受信しないで、手で時刻を合わせる場合は、**〈手動での時刻合わせ〉**を参照してください。

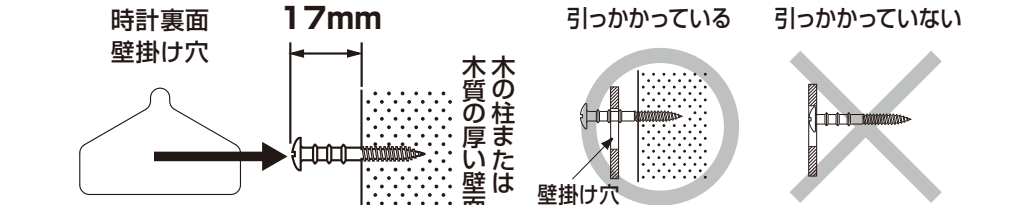
- 窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。
- ① 電池を入れる** 〈電池の入れかた〉参照
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。
電池を逆に入れると、電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。
- ② 強制受信ボタンを押す** 〈標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方〉参照
受信表示ランプが点灯して受信を開始します。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
- ③ 明るさ選択スイッチを設定** **2. 照明の設定** 参照
- ④ 時計を掛ける**
〈時計の掛け方〉に従い、時計を確実に掛けてください。
- ⑤ 受信結果を確認する** 〈標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方〉参照
受信表示ランプ 2秒に1回点滅：受信成功 消灯：受信失敗

時計の掛け方

- 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。**
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
 - 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじや取付金具)がしっかり掛かっていることを確認してください。
 - 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。

取り付け方 取付金具 **タイプA** 取付金具 **タイプB**

金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。

クギ 取付金具の穴に対して、垂直に押し込む

石こうボードの壁面

○壁の材質、取り付け方を確認の上で使用ください。
○付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
○取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
○クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
○取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

引っかかっている 引っかかっていない

その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

2. 照明の設定……………暗くなると文字板面を照明する

明るさ選択スイッチ

明暗センサーに連動して、暗くなると文字板を照明させることができます。明るさ選択スイッチを設定してください。

強：最大の明るさで照明
弱：明るさを抑えた照明
消す：照明を使わない

強制受信や自動受信により、電波を受信している最中は、受信しやすくするために消灯します。

(裏面)

明暗センサーとスリープモニター……暗くなると秒針停止、自動照明

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯し、秒針を12時位置で停止させます。また、明るさ選択スイッチが「強」または「弱」のときは、照明を点灯させます。明るくなると現在時刻の秒位置に早送り移動し、照明を消灯します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きまわります。十分に明るいところで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換時期です。
→ **電池の交換時期お知らせ機能** 参照。

スリープモニターボタン

明暗センサーの動きを見たいときに使用します。秒針が12時の位置に近づきましたら、このボタンを押し続けてください。秒針が12時の位置で止まり、受信表示ランプが点滅している場合は消えます。また、明るさ選択スイッチが「強」または「弱」に設定されていると、文字板面が照明されます。ボタンを離すと秒針が早送りで現在時刻を指します。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。そのまま放置すると電池からの液もれや誤作動の原因になりますので、速やかに新品の電池にすべて交換してください。
※電池の交換時期になると照明機能が停止します。
※時計と分針は電池の交換時期になってからおよそ1ヵ月前後動きます。

◆ 電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 電池を長期間使い続けると、電池からの液もれが発生しやすくなります。電池が液もれを起こすと時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 時計が動いていても使い方に応じて定期的に交換する。
 - 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- 注意** 液もれだ!

推奨される電池

- ① 電池に「月一年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年以上先の年月表示があるもの。例、2020年3月に交換→「03-2024」より先の「使用推奨期限」表示がある電池
 - ② 使用するすべての電池が同じメーカーで同一の「使用推奨期限」のもの
 - ③ 未使用の電池
 - ④ 単3形アルカリ乾電池
- 使用推奨期限の表示例→ 03-2024